

安全上のご注意

- ・ご使用になる前に、必ずこの「安全上のご注意」および取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ・定められた手順に従って、適切なご使用をお願いします。
- ・異常が発生した場合は、ただちに使用を中止してください。
- ・ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載しておりますので必ずお守りください。
- ・注意区分は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすることで生じると想定される内容を「危険」「警告」「注意」に区分しています。

●注意区分について

	危険	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容です。
	警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
	注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害*の発生が想定される内容です。

*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

●図記号について(次は図記号の例です)

	してはいけないことを示しています。
	しなければならないことを示しています。
	注意しなければならないことを示しています。

危険

	<p>次に該当する方は使用しないでください。</p> <p>医療用電子機器の誤作動を招く原因となります。</p> <p>●医療用電子機器を使用している方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペースメーカーなど体内植込型医療用電子機器 ・人工心臓など生命維持用医療用電子機器 ・心電計などの装着型医療用電子機器
--	---

警告

	<p>肌や身体を守るため、以下の方は使用しないでください。事故やトラブルの原因となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●光過敏性てんかんなどの光過敏症の光に関する疾患がある ●光過敏症反応を起こす要素がある薬や湿布薬、ローションなどを1ヶ月以内に使用した ●4週間以内に強い太陽の光を受けたり、日焼けした ●生理中、妊娠中、授乳中 ●12歳未満のお子様 ●自分で意思表示できない ●医師の治療を受けている ●発熱している ●酒気帯び ●アレルギー体質 ●顔面神経痛 ●眠気をさそう薬を服用している ●ステロイドなどの薬を継続的に使用している ●敏感肌または肌が弱い ●疲労している ●体調がすぐれない ●高血圧 ●皮膚病 ●悪性腫瘍 ●内臓疾患 ●伝染病疾患 ●皮膚がん病歴がある ●血液疾患 ●急性疾患 ●白斑・尋常性白斑がある ●アトピー性皮膚炎 ●皮膚トラブルがある ●結核性疾患 ●3ヶ月以内に放射線治療や化学療法を受けたことがある
	<p>次のような部位または部分には使用しないでください。事故やトラブルの原因となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●指定以外の部位 ●眼球、まぶたなど目の周辺 ●頭部および頭髮 ●刺青(タトゥー)とその周辺 ●ホクロ、シミ、あざのある部分 ●傷、ケロイドのある部分 ●皮膚の色が濃い ●日焼けした肌、または色素が白く抜けている部分 ●乳首や乳輪、へそなど ●唇、口腔内や性器及び周辺の粘膜など ●皮膚が化膿して炎症を起こしている部分 ●かゆみやほてりのある部分 ●静脈瘤のある部分 ●体内に金属等を埋め込んでいる部分 ●外科手術(美容整形も含む)をした部分 ●色素が濃く沈着された部分(肝斑を含む) <p>ご自身で判断できない場合は、使用前に医師にご相談ください。</p>

本製品(本体)、電源コードについて	
	<ul style="list-style-type: none"> ●電源コードのコード部分を引っ張ったり、ぬれた手で電源プラグを触ったりしない。感電、発火、ショート、断線の原因となります。 ●電源コードを無理に曲げたり、重い物をのせたりしない。感電、発火、ショート、断線の原因となります。 ●アルコール、シンナー、ベンジン、除光液など引火性のあるものの近くで使用しない。火災、感電、ケガの原因となります。 ●本製品を改造、分解、修理をしない。発火や感電、異常動作によるケガの原因となります。 ●過剰な連続使用はしない(業務としての使用など)。ケガ、やけどなどの原因となります。 <p>※業務用として使用された場合は修理をお受けできません。</p>

安全上のご注意

安全上のご注意

警告

電源プラグについて



必ず守る

- 電源プラグをコンセントから抜いたり差し込んだりする際は、必ずプラグ部分を持って行う。
(電源プラグの金属部に触れないようにする)。
感電、発火、ショートの原因となります。
- 電源プラグの部分にほこりや水がついている場合は、乾いたタオルで拭く。
感電、発火、ショートの原因となります。
- 電源プラグをコンセントから抜いたり差し込んだりする際は、必ず本体の電源スイッチを切った状態で行う。
火災、感電、発火、故障の原因となります。

本製品(本体)について



必ず守る

- 本製品をご使用の際は、必ず付属のゴーグルを装着する。
事故やケガの原因となります。
- 必ず交流100V(日本国内専用)で使用する。また、単独のコンセントで使用する。
火災、感電、発火、故障の原因となります。
- 使用時以外は本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。
火災、発火の原因となります。
- コード、プラグおよび本製品の損傷、水ぬれにより本製品が正常に作動しない場合は、必ず点検と修理を受ける。
発火、感電、ケガの原因となります。
- 浴室などの高温多湿の場所で使用したり、保管したり、水のかかりやすい場所におかない。
感電、火災の原因となります。
- ストーブや電熱器具の近くで使用しない。
発熱、発火、故障の原因となります。
- 本体の電源を入れても本体およびハンドピースの内部ファンが作動しない(作動音がしない)場合は使用しない。
発煙、発火、ケガ、故障の原因となります。
- 異臭、異常発熱したときは使用しない。
破損、発火の原因となります。電源を切り、必ず点検・修理を受けてください。
- 水洗いしない。汚れた場合は洗剤を使わず乾いたきれいな布で拭いた後、保管する。
感電、火災、ショート、故障の原因となります。
- 高いところで使用したり、保管したりしない。
落下により、故障の原因となります。
- 子供の手の届く場所に保管したり、使用させたりしない。
事故やケガの原因となります。

注意

本製品(本体)について



禁止

- アルコール、シンナー、ベンジン、除光液などの溶剤で拭かない。
表面に損傷を与える原因となります。
- 屋外、直射日光の下で使用しない。
故障、動作不良の原因となります。
- 子供やペットには使用しない。
ケガの原因となります。

ランプカートリッジについて



禁止

- 使用前にランプカートリッジの照射口を確認し、変形、変色、破損などがある場合は使用しない。
やけどなどの肌トラブルの原因となります。
- ランプカートリッジの照射口を磁気のあるものに近づけない。
故障、破損の原因となります。
- ランプカートリッジのレンズ部分を直接触らない。
故障の原因となります。

お肌について

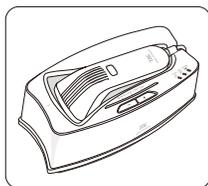


必ず守る

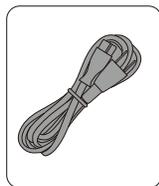
- 照射する部位は、必ず前日にシェービングする。
毛が長いと、やけどや肌トラブルの原因となります。
- アクセサリなどの金属類は外す。
ケガの原因となります。
- 照射する部位は洗浄し、制汗剤やローション、クリーム、オイルなどは塗らない。
やけどや肌トラブルの原因となります。
- 照射前と照射後は必ずクーリングバックで冷やす。
やけどや肌トラブルの原因となります。
- ご使用前の必ずテスト照射を行い、照射した部位の肌状態を確認する。
照射した部位に異常な熱感を感じたら使用しない。
クーリングバックで十分に冷やす。
十分な冷却をしないと、やけどや肌トラブルの原因となります。
- 照射の際は、必ず肌に当てた状態で照射する。
やけどや肌トラブルの原因や眼に障害が起きる場合があります。
- 照射中、強い熱感を感じたら、ハンドピースを肌から離して使用を中止し、クーリングバックで十分に冷やしてください。ハンドピースを本体に収納し、電源スイッチを切らずに照射口(レンズ部分)が冷めるまで時間をおく。
そのまま使用すると、やけどや肌トラブルの原因となります。

製品について

製品と付属品



製品



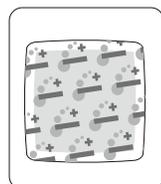
電源コード



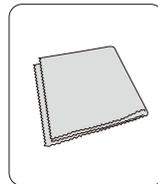
取扱説明書
(保証書付)



ゴーグル



クーリングパック

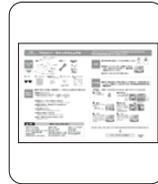


お掃除クロス
(ランプカートリッジレンズ用)



※ハンドピースの先に
装着されています。

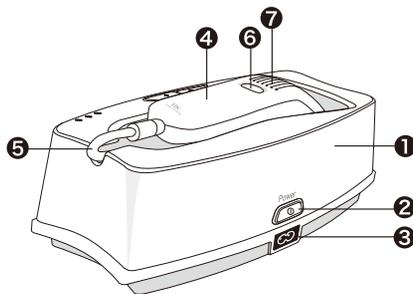
ランプカートリッジ



クイックマニュアル

各部の名称と働き

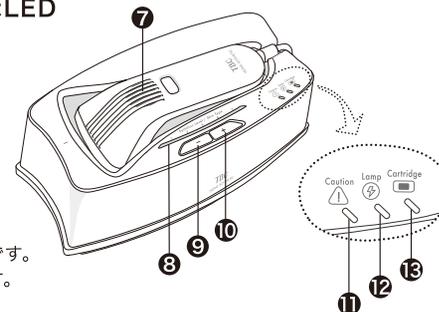
- ① 本体
- ② 電源スイッチ (Power)
スイッチを押すと電源がオン、再度押すと電源がオフの状態になります。
- ③ 電源コード差し込み口
- ④ ハンドピース
- ⑤ ハンドピースケーブル
ハンドピースの下に収納されています。
- ⑥ 照射ボタン/モード切り替えボタン
光を照射するときおよび手動モードとスキントーン検知モードを切り替えるときに使用するボタンです。
●シングル照射:短押し(1秒以内) ●ダブル照射:長押し(2秒以上) ●モード切り替え:長押し(3秒以上)
- ⑦ 冷却用換気(排気)口
ハンドピース内部を冷却するための換気(排気)口です。



各部の名称と働き

⑧ 照射レベル/スキントーン表示LED

- ①手動モード使用時
(シングル照射/ダブル照射)
照射レベルアップ・ダウンボタンで設定した照射レベルを表示します。
- ②スキントーン検知モード使用時
スキントーンセンサーで検知したスキントーンタイプを表示します。



⑨ 照射レベルダウンボタン(-)

照射レベルを下げるときに押すボタンです。
ボタンを押すと照射レベルが下がります。

⑩ 照射レベルアップボタン(+)

照射レベルを上げるときとランプカートリッジの寿命を確認するときに押すボタンです。
〈照射レベルを上げる場合〉
ボタンを押すと照射レベルが上がります。
〈ランプカートリッジの寿命を確認する場合〉
電源が入っている状態でボタンを長押し(約3秒)します。

⑪ 警告表示LED (Caution ⚠)

ハンドピースのスキントーンセンサーがスキントーンタイプを『6』(照射不可)と検知した場合、レッドLEDが点滅します。

⑫ ランプ表示LED (Lamp ⚡)

下記の条件でランプ表示LEDが点灯、または点滅します。
●薄オレンジLED点灯:待機状態(スタンバイ状態)→ハンドピースが肌に当たっていない
●薄オレンジLED点滅:チャージ状態
●グリーンLED点灯:照射待機状態(レディ状態)→ハンドピースが肌に密着している
●レッドLED点滅:ランプ寿命警告(ランプ交換の合図)

⑬ カートリッジ表示LED (Cartridge 🗑)

ランプカートリッジがハンドピースにしっかり装着されているとオレンジLEDが点灯します。

⑭ 照射口

光が照射(発光)される部分です。

⑮ スキントーンセンサー

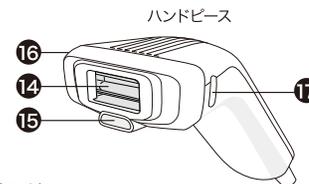
照射する部位の肌の色をチェックしてスキントーンタイプを検知します。

⑯ ランプカートリッジ

着脱可能なランプカートリッジです。
スキントーンセンサー内蔵で、ハンドピースの照射口が肌に密着すると電子音が鳴ります。

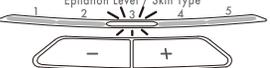
⑰ ランプカートリッジ取り外し用クリップ

両側のクリップを押してランプカートリッジを取り出します。



各モードの機能と特長

本製品は継続してケアを続けることで、ムダ毛が目立たなくなる家庭用光美容器です。
下記の3つのモードが搭載されています。

モード 名称	手動モード		スキントーン検知モード (安全機能)
	シングル照射	ダブル照射	
特長	<p>①照射する部位のスキントーンを確認し、体感に合わせて照射レベルを設定することができます。設定できる照射レベルは「1」～「5」の5段階です。</p> <p>※スキントーンの確認と照射レベル設定の目安は10ページの「スキントーンの種類と確認」を参照してください。</p>	<p>②照射する部位のスキントーンを確認し、体感に合わせて照射レベルを設定することができます。設定できる照射レベルは「1」～「5」の5段階です。</p> <p>※スキントーンの確認と照射レベル設定の目安は10ページの「スキントーンの種類と確認」を参照してください。</p>	<p>①肌選別AI機能のスキントーンセンサーが肌の色を検知し、自動的にスキントーンに合った照射レベルを設定します。</p> <p>スキントーンセンサー</p>  <p>②検知したスキントーンは、照射レベル/スキントーン表示LEDがホワイトに点滅してお知らせします。</p> <p>Epiletion Level / Skin Type</p>  <p>※検知したスキントーンが「3」と判断した場合の表示例</p> <p>③スキントーンが「6」(照射不可)と判断された場合、本体に設置された警告(Caution)表示LEDがレッドに点滅、「ピーピーッ」という警告音が発生し、照射レベル/スキントーン表示LEDがオレンジに全点滅表示されます。この状態でハンドピースの照射ボタンを押しても照射されません。</p> <p>※スキントーンが「6」(照射不可)と判断された場合、レッドLEDが点滅。</p> 
	<p>②ハンドピースの照射面に肌に密着させた状態で、照射ボタンを短押し(1秒以内)するとシングル照射されます。</p> <p>照射ボタン 短押し (1秒以内)</p>  <p>シングル照射(1回)</p>	<p>②ハンドピースの照射面に肌に密着させた状態で、照射ボタンを長押し(2秒以上)するとダブル照射されます。</p> <p>照射ボタン 長押し (2秒以上)</p>  <p>ダブル照射(2回) ※同一部分に2連続して照射します。</p>	
こんな方におすすめ	光美容器を使用したことがある方	顔以外の太い毛で効果があまりみられない方	<ul style="list-style-type: none"> ・スキントーンの種類に迷う方 ・前回使用時から肌の色に変化があった方

※初めて使用する際には、テスト照射を行ってください。照射する部位に手動モード レベル「1」で照射してしばらくおいてから、赤み、腫れ、水疱、痛み、ひりつきなどの反応症状が照射部位やその周辺に生じていなければ照射可能です。

※スキントーンの確認と照射レベル設定の目安は10ページの「スキントーンの種類と確認」を参照してください。

※本製品は医療機器ではありません。永久脱毛とは異なります。

ご使用前の確認

ご使用できる部位



以下の部位に照射する際は、下記の注意事項をお守りください。

- 顔:鼻より下のみ照射可能です。それ以外の部位には照射しないでください。絶対に唇、口腔内、目の周りや直接目(眼球)に照射しないでください。
- 胸:乳首、乳輪には照射しないでください。
- その他:へそ、性器および周辺の粘膜などに照射しないでください。



注意

ご使用のタイミング

毛は一定の周期で生えかわっています。これは毛周期(ヘアサイクル)と呼ばれ、成長期、退行期、休止期を繰り返しています。

光トリートメントは、成長期の毛に対して行うのが効果的ですが、肌表面から見分けることが難しいため、2ヶ月以上継続して使用することをおすすめします。

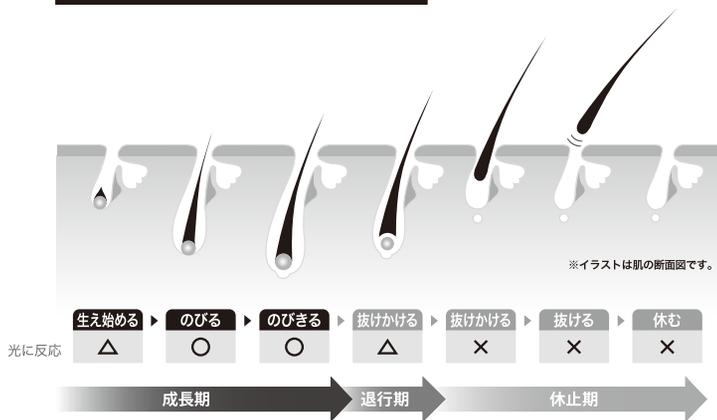
＜ご使用の目安＞	最初の2ヶ月	3ヶ月目以降
顔(鼻より下)	2週間に1回	4週間に1回
胸・お腹・腕・太もも ひざ下など	2週間に1回	4週間に1回
ワキ・ビキニライン	1週間に1回	2週間に1回

※最低でも1週間以上あけてご使用ください。

※2ヶ月以上継続して使用することをおすすめします。使用を続けることでムダ毛は目立たなくなりますが、中止するとムダ毛の量は徐々に戻ります。

毛周期(ヘアサイクル)

このタイミングで使用するのがおすすめ



ご使用の前に

STEP 1

スキントイプの分類と確認

紫外線を受けたときの肌反応は、以下の6つに分類されます。最初に自分の肌の色を確認し、照射レベルを設定してからご使用ください。

スキントイプの分類に迷う場合、肌の色に変化があった場合は、16ページの「ご使用の手順【スキントーン検知モード】」を参照してご使用ください。

※スキントーン検知モードは自動で照射レベルが設定されます。

●スキントイプの分類

スキントイプ	日光を浴びた際の皮膚反応
1	常に赤くなり、肌色が濃くならない。
2	常に赤くなり、その後少し肌色が濃くなる。
3	赤くなり、肌色が濃くなる。
4	あまり赤くならず、すぐに肌色が濃くなる。
5	めったに赤くならず、肌色が非常に濃く黒くなる。
6	赤くならず、肌色が非常に濃く黒くなる。

フィッツパトリック(Fitzpatrick)のスキントイプ

●スキントイプの確認と照射レベルの設定の目安

スキントイプ	1	2	3	4	5	6
肌の色						
照射レベル	1~5	1~4	1~3	1~3	1~2	照射不可

※手動モードを使用する際は、レベル「1」から始めてください。

照射レベルを上げたとき、熱く感じたらレベルを下げてご使用ください。

STEP 2

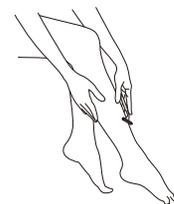
シェービング(前日に行ってください)

本製品では、毛に光のエネルギーが作用するので、余分な体毛を電気シェーバー、もしくはカミソリなど(一般市販品)でシェービングします。使用する前日にシェービングしてください。

※ワックスやピンセットなどで体毛を完全に抜かないでください。

クーリングパックの準備

あらかじめ付属のクーリングパックを冷凍庫に入れて十分冷やします。



ご使用前に

STEP 3

肌の洗浄

照射する部位を洗浄し、タオルなどで水分を拭き取ってください。

STEP 4

ランプカートリッジの確認とお手入れ

ランプカートリッジのレンズ部分にホコリや毛などの汚れが付いていないか確認してください。レンズ部分が汚れている場合は、電源スイッチを切り、付属のお掃除クロスで拭き取ってからご使用ください。お掃除クロスで汚れが落ちない場合は、綿棒を水で湿らせて汚れを拭き取ってください。連続して行う場合、途中でレンズの汚れを確認し、お手入れを行ってからご使用ください。



注意

- ランプカートリッジをアルコール、シンナー、ベンジン、除光液などの溶剤で拭かない。
ランプカートリッジの表面やレンズ部分に損傷を与える原因となります。
- ランプカートリッジのレンズ部分を直接触らない。
熱くなっている場合があり、やけどの原因となります。

STEP 5

テスト照射

照射前に、肌の状態や体調に問題がないか確認してください。

初めてご使用の際には、照射する部位にテスト照射を行い、赤み、腫れ、水疱、痛み、ひりつきなどの反応症状が照射部位やその周辺に生じていないか確認してください。

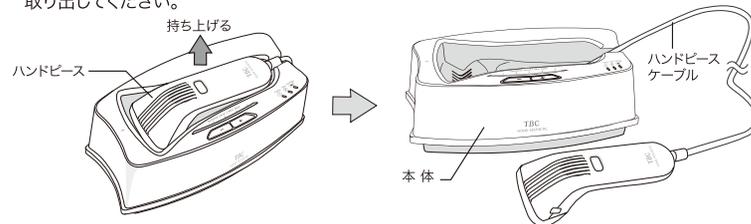
※照射の手順は、13ページ～の「ご使用の手順【手動モード(シングル照射/ダブル照射)】」を参照し、1→2→3→4→5→6の流れで行い、照射レベル「1」で照射し、問題がなければ照射可能です。照射後、冷やします。

ご使用方法

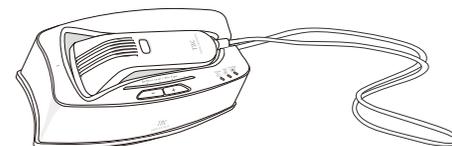
セッティング

1 下記の順番でハンドピースケーブルを本体から取り出してください。

- ① ハンドピースを持ち上げ、ハンドピースの下に収納されているハンドピースケーブルを本体から取り出してください。



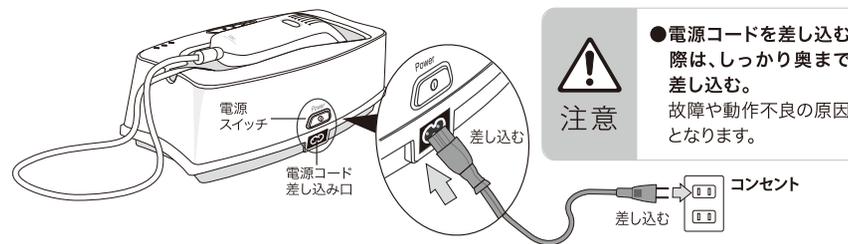
- ② ハンドピースケーブルを本体から完全に取り出したら、再度ハンドピースを本体にセットしてください。



注意

- ハンドピースケーブルを本体から取り出す際は、ケーブルを無理に引っ張らない。
断線、故障の原因となります。

2 電源コードを本体の電源コード差し込み口に差し込みます。 電源プラグはコンセントに差し込みます。



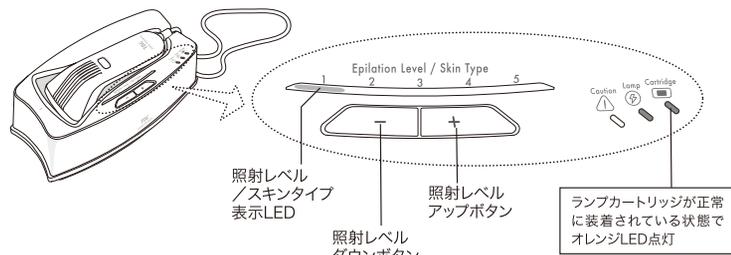
ご使用の手順【手動モード(シングル照射/ダブル照射)】

1 付属のゴーグルを装着します。



2 本体の電源スイッチを押します。

- ① “ピピピピ…”という電子音が鳴るとともに照射レベル/スキントイプ表示LED(オレンジ)が「1」から「5」まで点灯後、レベル「1」のみ点灯状態になります。
- ② 本体およびハンドピース内のファンが作動します。
- ③ 本体のランプ(Lamp)表示LED(薄オレンジ)とカートリッジ(Cartridge)表示LED(オレンジ)が点灯します。
※ハンドピースにランプカートリッジが確実に装着されていない場合や不具合が発生している場合、カートリッジ(Cartridge)表示LEDは点灯しません。



3 付属のクーリングバックで照射する部分を冷やします。

ご使用前に必ずガーゼ、または薄手のタオルなどを巻いてからお使いください。
※冷凍庫から出してすぐに肌に当てると、肌について取れなくなる恐れがあります。



クーリングバック

＜クーリングバックのご使用方法＞

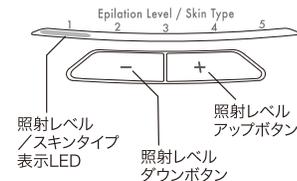
- 付属のクーリングバックを冷凍庫に入れて十分冷やします。 → 照射直前に照射する部分をクーリングバックで冷やします。 → 照射後、照射した部分を再度クーリングバックで冷やします。

※肌を冷やしすぎると凍傷になる場合がありますのでご注意ください。
※手で触れて、肌が冷えているか確認してから照射してください。

ご使用の手順【手動モード(シングル照射/ダブル照射)】

4 照射レベルアップダウンボタンを押して、照射レベルを設定します。

設定できる照射レベルは、「1」から「5」です。照射レベルの設定は、ご使用される方のスキントイプ(10ページ)に合う照射レベルに設定します。
※ご使用の際は、レベル「1」から始めてください。照射レベルを上げたとき、熱く感じたらレベルを下げて行ってください。



5 照射する部分にハンドピースを垂直に密着させます。

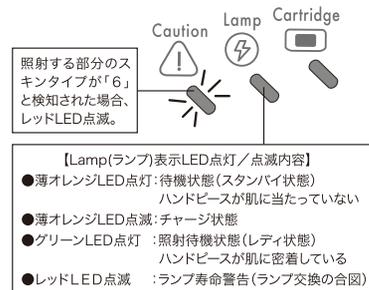
※ハンドピースの照射口を、肌に強く押し当てないでください。



ハンドピースの照射口が確実に密着すると“ピピピピ”と電子音が鳴ると同時に本体に設置されたランプ(Lamp)表示LEDが薄オレンジからグリーンに切り替わり点灯表示され、照射待機状態(レディ状態)になります。

※肌に密着していないと電子音は鳴りません。その場合、本体に設置されたランプ(Lamp)表示LEDが薄オレンジのままの状態になります。ハンドピースを肌から離し、再度密着させてください。

※スキントーンセンサーが照射する部分のスキントイプが「6」(照射不可)と検知した場合、本体に設置された警告(Caution)表示LEDがレッドに点滅します。



6 ハンドピースの照射ボタンを押して、照射します。

※照射の際は、直接光を見ないようにしてください。

シングル照射

照射ボタンを短押し(1秒以内)で1回照射されます。

シングル照射で継続ケアを行い、効果があまりみられない方はダブル照射を使用します。

※体感および効果に合わせて使い分けを行ってください。

ダブル照射

照射ボタンを長押し(2秒以上)で2回照射されます。



ご使用の手順【手動モード(シングル照射/ダブル照射)】

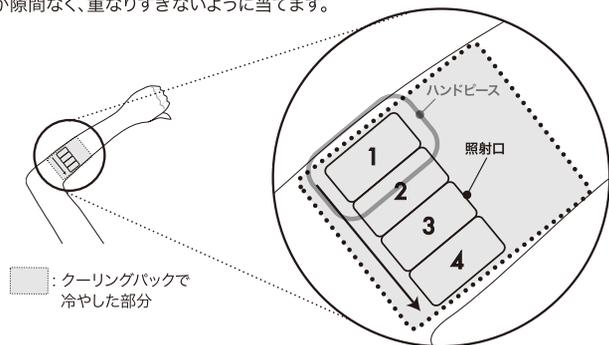
7 照射の際、完全に照射が終わるまでハンドピースを肌に密着させます。

8 照射が完了したらハンドピースを10cm以上肌から離し、充電が完了したら次の照射する部分に移動します。一度照射した部分に重ねないようにして照射します。

充電完了の合図は、「ピピピピ……ピー」となった時点です。
 ※設定した照射レベルにより充電時間が異なります。
 ※照射するときは隙間なく照射し、重ねて照射しないでください。
 ※照射の際は、8ページ「ご使用できる部位」を参照してください。

【照射例】

クーリングバックで冷やした部分を照射します。
 照射口が隙間なく、重なりすぎないように当てます。



9 照射した部分を再度クーリングバックで冷やします。
 冷やす ⇒ 照射 ⇒ 冷やす ⇒ 次に照射する部分を冷やす ⇒ 照射 ⇒ 冷やす の順です。

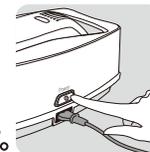
10 以後は、3~9と同じ手順で照射します。

※連続して照射すると、照射口(レンズ部分)が熱くなることがあります。ハンドピースを肌に当てて熱いと感じたら使用を中止し、電源スイッチは切らないでください。ハンドピースを本体にセットし、冷めるまで時間を置いてください。冷めたら照射口を確認し、汚れていたら電源スイッチを切り、お手入れを行ってから再度ご使用ください。

11 照射が完了したら、照射した部分を再度クーリングバックで必ず冷却します。
 その後、化粧水やクリームなどで保湿します。

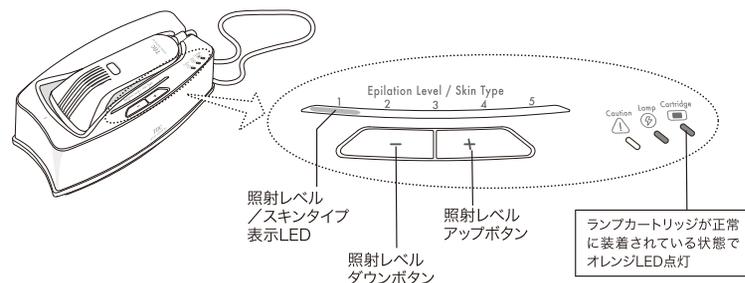
ご使用の手順【スキントーン検知モード】

1 付属のゴーグルを装着します。



2 本体の電源スイッチを押します。

- ① “ピピピピ……”という電子音が鳴るとともに照射レベル/スキントーン表示LED(オレンジ)が「1」から「5」まで点灯後、レベル「1」のみ点灯状態になります。
- ② 本体およびハンドピース内のファンが作動します。
- ③ 本体のランプ(Lamp)表示LED(薄オレンジ)とカートリッジ(Cartridge)表示LED(オレンジ)が点灯します。
 ※ハンドピースにランプカートリッジが確実に装着されていない場合や不具合が発生している場合、カートリッジ(Cartridge)表示LEDは点灯しません。



3 ハンドピースの照射ボタンを3秒以上長押しして、スキントーン検知モードにします。



本体の照射レベル/スキントーン表示LEDがオレンジに全点灯します。



※再度ハンドピースの照射ボタンを3秒以上長押しすると、手動モードに切り替わります。
 ※照射ボタンを長押しするときは、肌からハンドピースを離して行ってください。

ご使用の手順【スキントーン検知モード】

4 付属のクーリングバックで照射する部分を冷やします。

ご使用前に必ずガーゼ、または薄手のタオルなどを巻いてからお使いください。
※冷凍庫から出してすぐに肌に当てると、肌について取れなくなる恐れがあります。

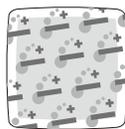
＜クーリングバックのご使用方法＞

付属のクーリングバックを冷凍庫に入れて十分冷やします。

照射直前に照射する部分をクーリングバックで冷やします。

照射後、照射した部分を再度クーリングバックで冷やします。

※肌を冷やしすぎると凍傷になる場合がありますのでご注意ください。
※手で触れて、肌が冷えているか確認してから照射してください。



クーリングバック

5 照射する部分にハンドピースを垂直に密着させます。

※ハンドピースの照射口を、肌に強く押し当てないでください。



①ハンドピースの照射口が確実に密着すると「ピッピッピッ」と電子音が鳴ると同時に本体に設置されたランプ(Lamp)表示LEDが薄オレンジからグリーンに切り替わり点灯表示され、照射待機状態(レディ状態)になります。

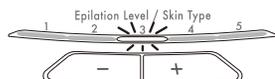
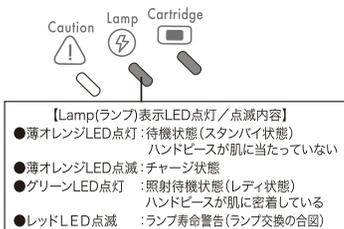
※肌に密着していないと電子音は鳴りません。その場合、本体に設置されたランプ(Lamp)表示LEDが薄オレンジのままの状態になります。ハンドピースを肌から離し、再度密着させてください。

②ハンドピースにセットされたスキントーンセンサーが照射部分のスキントーンを検知します。検知されたスキントーンは、本体の照射レベル/スキントーン表示LEDがホワイトに点滅している値で表示されます。

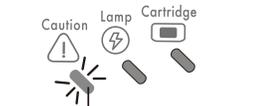
※スキントーン検知モードでは、照射レベルの表示値がスキントーン表示に切り替わります。

※照射する部分のスキントーンが「6」(照射不可)と検知された場合、本体に設置された警告(Caution)表示LEDがレッドに点滅、「ピーッピーッ」という警告音が発生し、照射レベル/スキントーン表示LEDがオレンジに全点滅表示されます。この状態でハンドピースの照射ボタンを押しても照射されません。

③この時点で表示されたスキントーンに合った照射出力が自動的に設定されます。
※スキントーン検知モードでは、照射出力アップダウンボタンでの照射出力の設定・調整はできません。



※検知したスキントーンが「3」と判断した場合の表示例



照射する部分のスキントーンが「6」(照射不可)と検知された場合、レッドLED点滅。

ご使用の手順【スキントーン検知モード】

6 ハンドピースの照射ボタンを押して、照射します。

照射ボタンを短押し(1秒以内)すると1回照射されます。
※照射の際は、直接光を見ないようにしてください。



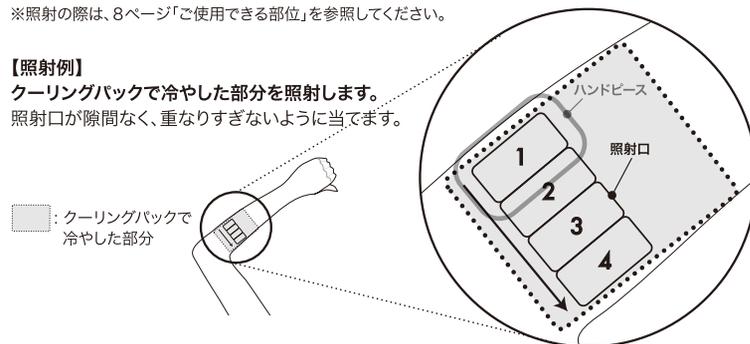
7 照射の際、完全に照射が終わるまでハンドピースを肌に密着させます。

8 照射が完了したらハンドピースを10cm以上肌から離し、充電が完了したら次の照射する部分に移動します。一度照射した部分に重ねないようにして照射します。

充電完了の合図は、「ピッピッ……ピー」となった時点です。
※照射するときは隙間なく照射し、重ねて照射しないでください。
※照射の際は、8ページ「ご使用できる部位」を参照してください。

【照射例】

クーリングバックで冷やした部分を照射します。
照射口が隙間なく、重なりすぎないように当てます。



9 照射した部分を再度クーリングバックで冷やします。

冷やす ⇒ 照射 ⇒ 冷やす ⇒ 次に照射する部分を冷やす ⇒ 照射 ⇒ 冷やす の順です。

10 以後は、3-9と同じ手順で照射します。

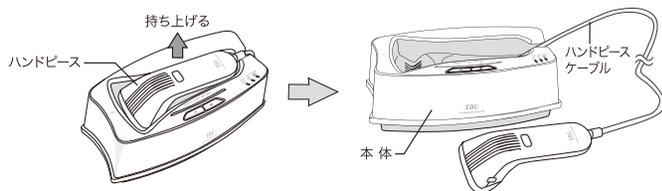
※連続して照射すると、照射口(レンズ部分)が熱くなることがあります。ハンドピースを肌に当てて熱と感じたら使用を中止し、電源スイッチは切らないでください。ハンドピースを本体にセットし、冷めるまで時間を置いてください。冷めたら照射口を確認し、汚れていたら電源スイッチを切り、お手入れを行ってから再度ご使用ください。

11 照射が完了したら、照射した部位を再度クーリングバックで必ず冷やします。その後、化粧水やクリームなどで保湿します。

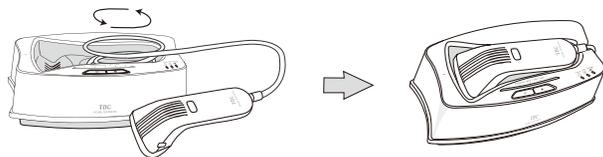
ご使用後の手順

- 1 本体の電源スイッチを押して、電源を切ります。
- 2 ランプカートリッジのレンズを、付属のクロスで拭き取ります。
※使用直後は、レンズ部分が熱くなっています。やけどをしないように注意してください。
- 3 電源プラグをコンセントから抜き、電源コードを本体から外します。
- 4 下記イラストの手順でハンドピースケーブルを本体に収納します。

- ① ハンドピースを本体から取り出し、ハンドピースケーブルを伸ばしてください。



- ② らせんを描くようにハンドピースケーブルを巻いて、本体に収納してください。



注意

- ハンドピースケーブルを本体から取り出す際は、ケーブルを無理に引っ張らない。断線、故障の原因となります。

ご使用後の注意点

- 照射後は、必ず付属のクーリングバックで照射した部分を冷やしてください。
- 冷やした後も、照射した部分の肌が一時的に赤くなったり、ヒリヒリしたり、熱をおびたように感じることがあります。照射した部分に強い痛みを感じたり、赤みが引かない場合は、使用を中断して皮膚科医にご相談ください(痛みの感覚には個人差があります)。
- 冷やした直後は、保湿クリームなどで保湿してください。
- 照射24時間以内は、照射した部位を紫外線にさらさないでください。
- 照射24時間以内は、温水での入浴、サウナなどは控えてください。
- 日光浴や日焼けを最低2週間はしないでください。
- 照射48時間以内は、塩素処理をしたプールや温泉は控えてください。
- ご使用后、野外活動がある場合は、日焼け止めクリームを2週間に1回以上使用してください(SPF30、PA++以上)。

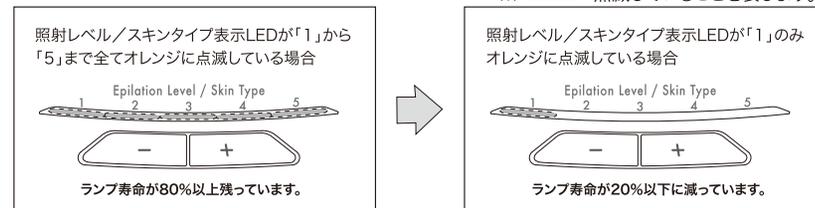
製品のお手入れ

ランプカートリッジの交換

ランプカートリッジの寿命確認方法

本体の電源スイッチを入れ、照射レベルアップボタンを長押し(約3秒以上)すると、ボタンを押している間のみ照射レベル/スキントイプ表示LED(オレンジ)が点滅してランプカートリッジの寿命をお知らせします。

例:

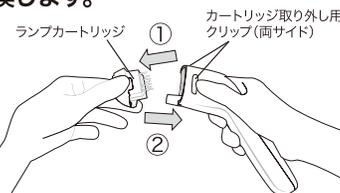


ランプカートリッジの交換方法

本体のランプ(Lamp)表示LEDがレッドに点滅したら、下記の順番でランプカートリッジを交換してください。(21ページの「エラー表示」を参照してください。)

- 1 本体の電源スイッチを押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。
- 2 ランプカートリッジを下記の手順で交換します。

- ① 片手でハンドピース両サイドのカートリッジ取り外し用クリップを押し、もう片方の手でランプカートリッジの両端を握り、ゆっく引き抜いてください。
- ② 新しいランプカートリッジの両端を握り、「カチッ」と音がするまでハンドピースにまっすぐ差し込んでください。



注意

- ランプカートリッジを交換する際は、必ず本体の電源を切り、コンセントを抜いてから行う。感電、発火、ショート、故障の原因となります。
- 本製品を水洗いしない。汚れた場合は洗剤を使わず乾いたきれいな布で拭いた後保管する。感電、火災、ショート、故障の原因となります。

エラー表示

本製品にエラーが発生した場合、下記の方法でエラー内容をお知らせします。
エラーNo.を確認したら、本体の電源を切って、エラー内容をご確認のうえ下記の対応をしていただくか
お買い上げの販売店へお問い合わせください。

※ :点滅していることを表します。 :消灯していることを表します。

① 本体の照射レベル/スキントップ表示LEDがオレンジに点滅すると同時に、“ピーピーツ”という警告音が鳴り続けることで発生したエラー内容をお知らせする場合

エラーNo.	点滅する表示LED(オレンジ)	エラー内容
1	 ●「1」のLED点滅と同時に警告音発生	本体のファンに不具合が発生している恐れがあります。
2	 ●「2」のLED点滅と同時に警告音発生	ランプカートリッジに不具合が発生している恐れがあります。
3	 ●「3」のLED点滅と同時に警告音発生	本製品の電気回路にエラー、不具合が発生している恐れがあります。
4	 ●「4」のLED点滅と同時に警告音発生	ハンドピースの内部温度が上昇しています。電源スイッチを切って、1時間程度ご使用を中断し、再使用しても同じエラーが発生するか確認してください。
5	 ●「5」のLED点滅と同時に警告音発生	本体の内部温度が上昇しています。電源スイッチを切って、1時間程度ご使用を中断し、再使用しても同じエラーが発生するか確認してください。

② 本体に設置されたランプ(Lamp)表示LEDがレッドに点滅すると同時に、警告音が鳴り続けることで発生したエラー内容をお知らせする場合

エラーNo.	点滅する表示LED(レッド)	エラー内容
6	 ●ランプ(Lamp)表示LED点滅と同時に警告音発生 ●カートリッジ(Cartridge)表示LED消灯	ランプカートリッジ交換の表示です。 20ページの「ランプカートリッジの交換方法」の手順で新しいランプカートリッジと交換してください。

[記録]				[記録]				[記録]			
No.	日付	部位	レベル	No.	日付	部位	レベル	No.	日付	部位	レベル
1				1				1			
2				2				2			
3				3				3			
4				4				4			
5				5				5			
6				6				6			
7				7				7			
8				8				8			
9				9				9			
10				10				10			
11				11				11			
12				12				12			

こんなときは

困ったときは

本製品をご使用中に異常や、以下の症状がみられる場合は、原因と処置方法をご確認ください。

こんな症状	考えられる原因	処置方法
作動しない	電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていない。	電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。
	電源コードが本体の電源コード差し込み口にしっかり差し込まれていない。	電源コードをしっかりと差し込んでください。
発光しない	ハンドピースの照射口が肌に密着していない。ランプカートリッジの先端に、誤照射防止用のセンサーが内蔵されています。照射口をしっかりと肌に密着させないと照射できません。	ハンドピースの照射面をしっかり肌に密着させてください。
	照射後、ハンドピースの照射口を肌に当てたまにしている。	1回照射ごとに、ハンドピースの照射口を肌から離してください。
照射レベルの設定ができない	スキントーン検知モードになっていませんか。スキントーン検知モードでは、照射する部位のスキントーンに合わせて照射出力が自動で設定されます。そのため、照射レベルの調整はできません。	照射レベルを調整しながらご使用されたい場合は、ハンドピースの照射ボタンを3秒以上長押しして、手動モードに切り替えてください。

よくあるご質問

Q	A
顔に使用できますか？	鼻から下には使用可能です。それ以外の箇所には使用しないでください。絶対に目の周りや唇などには使用しないでください。また、男性のひげなど、太い毛に使用する場合、期待する効果が得られない場合があります。
毎日使用して大丈夫ですか？	最低でも1週間間隔をあけてご使用ください。9ページ「ご使用のタイミング」を参照してください。
照射したあと焦げた匂いがあるのですが？	ランプカートリッジのレンズ部分にホコリや毛が付着していませんか？付属のクロスで拭き取ってください。また、照射する部位の毛が伸びている場合は、シェービングしてください。
毛はなくなりますか？	ご使用方法を確認いただき、継続的にご使用いただくことで、ムダ毛が目立たなくなります。
照射したところが赤くなったのですが？	体調や体質によって、一時的に赤みがでる場合があります。その場合は、付属のクーリングバックでよく冷やしてください。次回照射する場合は、照射レベルを下げてご使用ください。皮膚の反応が続く場合は、皮膚科医の診察を受けてください。
効果がでないのですが。	短期間のご使用では効果は期待できません。ご使用のタイミングやご使用方法を確認いただき、継続的にご使用ください。また、顔以外の太い毛の場合、お肌の状態をよく確認しながら手動モードのダブル照射を行ってみてください。また、体感(熱感)が問題ない場合は、手動モードのシングル照射で照射レベルを上げてみてください。照射の前後はクーリングバックでよく冷やしてください。ダブル照射のご使用方法は、13ページ～「ご使用の手順【手動モード(シングル照射/ダブル照射)】」を参照してください。
使用中、光がまぶしく感じるのでありますか？	ゴーグルを着用していますか？必ずゴーグルを着用してください。また、ハンドピースの照射口をしっかり密着させてください。
照射中、光が熱く感じられるのですが？	感じ方には個人差がありますが、シェービングが不十分な場合は熱く感じやすくなります。シェービングをきちんと行ってから照射してください。
海外で使用できますか？	日本国内の電源仕様(交流100V)になっているため、海外では使用できません。日本国内のみでご使用ください。
エステサロンや美容皮膚科などで脱毛(電気、光、家庭用含む)や、フェイスシャル、ボディコースを受けている(予定がある)のですが？	・同じ部位の脱毛コースを受けている(受ける予定がある)場合は、コース前後2週間以上空けてからご使用ください。 ・同じ部位のフェイスシャル、ボディコースを受けている(受ける予定がある)場合は、コース前後1週間以上空けてからご使用ください。 ※ご使用前には、必ずお肌の状態を確認してからご使用ください。
ランプカートリッジの照射口(レンズ部分)が曇ったり、黒い付着物が付いているのですが？	電源スイッチを切ってから、照射口(レンズ部分)をお掃除クロスで拭き取ってください。汚れが落ちない場合は、水で湿らせた綿棒で拭き取ってください。※使用直後は、レンズ部分が熱くなっているので、やけどをしないように注意してください。
照射口(レンズ部分)が熱く感じられるのですが？	連続照射をした場合、熱くなることがあります。電源スイッチを切らないで、ハンドピースを本体に収納し、照射口(レンズ部分)が冷めるまで時間をおいてください。
何歳から使用できますか？	12歳からご使用できます。

こんなときは

製品仕様

光Beauty2

定格電源電圧	AC100V 50/60Hz
消費電力	230W
製品サイズ	本体:約W270×D140×H110(mm) ハンドピース:約W70×D170×H55(mm)
製品重量	約1.1kg(本体+ハンドピース)
光源	キセノンランプ
照射サイズ	16mm×30mm(4.8cm ²)
ランプ寿命	照射レベル1:100,000ショット
動作条件	温度:5℃~35℃ 湿度:30%RH~80%RH
保管条件	温度:-20℃~80℃ 湿度:0%RH~95%RH

光Beauty2 ランプカートリッジ(別売・オプション品)

製品サイズ	約W70×D35×H35(mm)
製品重量	約24g

ランプカートリッジを新しいものと交換する際は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

※本製品の性能などを改善するための設計および仕様、付属品は、予告なく変更される場合があります。

- 本製品は、日本国内用に設計・販売しております。電源電圧や周波数の異なる国では使用できません。海外での修理やアフターサービスも対象外です。
- 本製品は、屋内専用です。

取扱説明書の内容について

本書は製品開発にさきかけて印刷しています。性能や操作性向上のため、製品仕様の一部が変更となることがあります。その場合は、製品自体の仕様が優先されます。

愛情点検 ●長年ご利用の製品の点検を!

	<p>こんな症状はありませんか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ●電源を入れても作動しない。 ●本体が異常に熱い、焦げ臭い。 ●異常な音がある。 ●電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。 ●その他の異常がある。 		<p>ご使用中止!!</p> <p>故障や、事故防止のため電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。</p>
---	--	---	---

1. 本製品には、本書の裏表紙に保証書がついています

お買い上げの販売店での所定事項の記入をご確認いただき、保証内容をよくお読みになって大切に保管してください。所定事項の記入がないと保証は有効となりませんので、そのときはお買い上げの販売店へ記入をお申し付けください。

2. 保証期間中に修理を依頼されるとき

本取扱説明書をよくお読みいただき、本製品に異常がある場合は、お買い上げの販売店に保証書をご提示のうえ、修理を依頼してください。保証書の規定により無償で修理させていただきます。

3. 保証期間後に修理を依頼されるときは

お買い上げの販売店にご相談ください。修理により本製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理致します。

4. 補修用性能部品について

当社では本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造終了後、最低6年間保有しております。

5. 本製品使用中、万一不具合により除毛などを行うことができなかった場合

そのことによる損失の補償、または使えなかったことによる付随的損害の補償については、その責任を負いかねますのでご容赦ください。

● 個人情報のお取扱いについて

本製品の修理などに際してお預かりするお客様のお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理致します。また、お客様の同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き第三者への開示は行いません。なお、お客様がお電話でご相談、ご連絡いただいた場合には、お客様のお申し出を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただく場合があります。

〈利用目的〉

商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせおよび修理の対応にのみ利用させていただきます。

〈業務委託の場合〉

上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせるとともに、適切な管理・監督を致します。

【お問い合わせ先】

発売元

エステティックTBC

〒163-0655

東京都新宿区西新宿1-25-1

お客さま相談室 ☎ 0120-80-1272

保証規定

本書は、お買い上げ日より保証期間内において、正常な使用状態で故障が発生した場合、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。詳細は下記をご参照ください。

1. 保証期間中、取扱いについての説明書などの注意に従った正常な使用状態で故障した場合は、お買い上げの販売店に修理をご依頼のうえ、本書をご提示ください。お買い上げの販売店が無料修理致します。
2. 保証期間中、無料修理などのアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または当社へお問い合わせください。
3. 次のような場合には、保証期間中でも有料修理になります。
 - a. 本書のご提示がない場合
 - b. 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記載がない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
 - c. ご使用上の誤り、不当な修理や改造による故障および損傷。
 - d. お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障および損傷。
 - e. 火災、地震、風水害、雷、その他天災地変、塩害、公害や異常電圧による故障および損傷。
 - f. 本製品以外の他の機器によって生じた故障および損傷。
4. 下記の部品は消耗品です。保証期間内でも有料となります。
 - ・ランプカートリッジ
 - ・クーリングパック
5. 本製品は持込修理の対象商品です。保証期間内でも商品も修理窓口へ送付された場合の送料はお客様のご負担となります。
6. この保証書は、本書に明示した期間の条件のもとにおいて、無償修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過の修理などについてご不明な場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
7. 本書は、日本国内においてのみ有効です。